

令和2年6月8日

お客さま各位

朝日信用金庫

新型コロナウイルスに便乗した犯行予兆電話について

今般、新型コロナウイルスの不安や混乱に便乗した詐欺事案の発生が増加傾向にあり、今後も、さまざまな詐欺被害が発生することが予想されます。

お客さまにおかれましても実際に発生した下記犯行予兆電話を参考にいただき、被害に遭わないよう、十分にご注意ください。

記

【新型コロナウイルスに関連した主な犯行予兆電話】

1. 40代男性

労働局を騙る男から、「コロナ対策で助成金が出ています。昨日までなので、今日の午後5時までに口座の登録をしてください。マスクも送付します。」等の内容の電話があり、男性は無人ATMまで誘導されたが、ATMの操作方法が分からず立ち往生していたところ、警戒中の警察官が未然防止した。

2. 70代女性

区役所を名乗る男から、「コロナの関係で高齢者には2万7,000円の控除がありますが用紙は届きましたか。」等の内容の電話があり、一方的に電話を切られた。

3. 50代男性

自宅の固定電話に、女の声で自動音声ガイダンスが流れ、「コロナウイルスの流行で給付金があります。案内に従ってください。」等の内容の電話が一方的にあったが、男性は、詐欺の電話に間違いのないと思い電話を切った。

4. 60代男性

警察署員を名乗る男から、「コロナウイルスの関係で10万円を給付するにあたり新しいカードにする必要があります。カードを取り替えるためご自宅へ行くかもしれません。」等の内容の電話があり、男性は、詐欺の電話に間違いのないと思い電話を切った。

以上